

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



事業管理者より
新年のあいさつ

「混迷からの脱却を願って」

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆



新年おめでとうございます。

昨年、ギリシャ、スペインなどの多重債務国を抱えるEU（ヨーロッパ連合）経済が悪化して、ユーロ圏が財政危機に揺れました。わが国ではデフレ脱却に向けて、やや上方に向いていた景気が、尖閣諸島、竹島など隣国とのトラブル続きの影響もあって、日本企業への風当たりが強くなり、海外進出あるいは輸出関連の企業業績が軒並み下方修正されました。

政治の世界では、末期の自民党政権同様に、民主党政権でも首相の首をすげ替えて延命を図る状態が続きましたが、ついに昨年末に解散・総選挙となりました。閉塞感の中で、維新の会をはじめとする新党が立ち上がっていますが、こちらもカリスマ指導者による大衆迎合が懸念されます。混沌とした政治情勢の中、前政権で「税と社会保障の一体改革」が閣議決定され、夏には社会保障の安定財源を得るために消費税増税法案などが成立しました。超高齢化社会を迎えて、医療、福祉、年金、介護などの社会保障の財源確保のため、ある程度の国民負担はやむを得ないのは実感でしょう。私たち、医療に携わっている者にとっても、より良い医療を継続するためにも、必要な財源が産み出されることは喜ばしいことです。消費税増税等で生まれる財源が正しく社会保障に向けられるよう、国民として関心を持ち続けたいと考えます。

目を地元芦屋市に向けますと、市の高齢化率（65歳以上の人口が総人口に占める割合）は24.1%で、わが国全体のそれと拮抗しており、高齢化率21%以上の超高齢化社会に突入しています。今後は高齢者の健康寿命（平均寿命から自立生活の出来ない介護期間を差し引いた数）を如何に延ばすことが出来るかが大きな課題です。昨年、全面改正された「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的方針」いわゆる「健康日本21（第2次）」においても、健康寿命の延伸などとともに生活習慣病発症予防と重症化予防は大きな柱となっています。ここで言う生活習慣病とは、国際的にはNCD（Non-communicable Diseases非感染性疾患）と呼ばれ、がん、心血管疾患、糖尿病、慢性肺疾患（COPD）の4つの疾患を指します。

市立芦屋病院は、芦屋市ならびに近隣地域住民の健康保持を担う医療機関として、本年もその責任を果たして参ります。昨年新築したばかりの病院内の人間ドックセンターでは、検査の充実と受け入れ人数の増加を行っています。各種市民健診やワクチン予防接種など疾病予防事業にも力を入れます。健康を守るとともに病気の早期発見のために、市民がんフォーラム、病院公開講座、健康教室などの啓蒙活動を引き続き行っていきます。診療面では、血液・腫瘍内科、循環器内科、緩和ケア内科などに新たな人材が加わる予定で、既に充実している糖尿病内科、外科、小児科など力を合わせて医療水準の向上に努めて参ります。

「プライバシーとアメニティ重視」の「クリーン&グリーン・ホスピタル」芦屋病院の完成を祝って、今年3月に「市立芦屋病院 開院60周年記念式典・病院竣工式典、記念講演・コンサート」を病院ならびに市民センター・ルナホールで執り行う予定です。ご参加をお待ち申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



市立芦屋病院開院60周年記念講演・コンサートのお知らせ

市立芦屋病院グランドオープンの今年、当院は開院60周年を迎えます。

下記のとおり記念講演・コンサートを開催しますので、どなたでも気軽にご参加ください。

日 時	平成25年3月24日(日) 午後1時30分～
場 所	芦屋市民センター・ルナホール
参 加 費	無 料

当日会場に直接足を運んでください。

問い合わせ先 市立芦屋病院 経営企画室 (TEL 0797-31-2156)

内 容

【記念講演】

『未来医療を語る～循環器疾患の新しい展開～』

大阪大学医学部 心臓血管外科教授 澤 芳樹 氏

【記念コンサート】

『グリーク作曲ピアノ協奏曲』 金澤 佳代子 氏、本家 規代 氏

ご存知ですか？ 骨粗しょう症 外来

当院の整形外科では毎週月・水・金の週3回、骨粗しょう症の専門外来（予約制）を開設しています。

骨粗しょう症は、単に骨がもろくなるだけでなく、ふとももの骨折や背骨の変形、全身の痛みでいすれ寝たきりとなる病気です。私たちは、内科やリハビリ科をはじめすべての診療科の協力のもと、総合病院ならではの態勢で、専門的な診療に取り組んでいます。

芦屋病院の 骨粗しょう症 外来に 通院することで…

1. 多角的な検査に基づいた最新の治療薬による治療を受けられます
2. 骨折など、いざという時にスムーズな入院治療を受けられるので安心
3. 専門のリハビリスタッフによるリハビリを受けることができます
4. 隠れた病気、ガンや内臓の病気を早期発見するきっかけにもなります

大切なのは、専門的な治療をトータルなサポート体制で受け続けること。そうすれば、いざという時の対応がスムーズです。

高齢期を迎え、骨がもろくなることに不安を感じる方のご来院をお待ちしています。

こんなあなたは骨粗しょう症かも…

背中がまがってきた

背がちぢんだ！

ささいなことで
骨折した

背中や腰が痛む



速報

『がん看護専門看護師』が 誕生しました!!

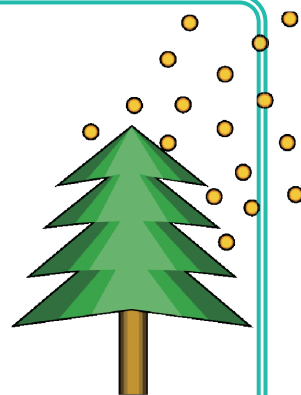
当院の宮武佳菜枝看護師がこのたび『がん看護専門看護師』の資格を取得しました。『がん看護専門看護師』とは日本看護協会専門看護師認定試験に合格し、特定の専門看護分野において卓越した看護実践能力を持つ看護師をいいます。より困難で複雑な健康問題を抱えた方や家族、地域等に対して水準の高い看護を提供するための知識や技術を備えた専門看護師が今後当院で活動してまいります。詳しくは次号のHOPEplusにてご紹介します。

花粉症対策はお早めに!

花粉症の症状を軽くするには、花粉の飛び始める2週間くらい前から、症状を抑える薬の服用を始めると、シーズン中よりも高い効果が期待できるといわれています。

花粉症の症状があらわれる時期は、個人差があります。毎年いつ頃花粉症の症状があらわれるか思い出して、その時期より2～3週間前には医師に相談し、なるべく早い受診を心がけましょう。

当院の耳鼻咽喉科は常勤医師が不在の為、兵庫医科大学病院の耳鼻咽喉科の医師により毎週 月・火・木・金曜日の午前に外来診察を行っています。



2月4日(月)より市立芦屋病院 南側駐車場70台が利用可能となります

市立芦屋病院では、病院建替改修工事の一環として実施しておりました駐車場整備工事が一部完了し、2月4日(月)より南側駐車場70台が利用できるようになります。工事期間中は来院される皆様に大変ご不便をお掛けしましたが、3月上旬には全ての工事が完了し、約200台の駐車場が完成します。

※詳しくは当院のホームページ、広報あしや等で随時お知らせします。



地域医療まもり隊 ～開業医の先生紹介～

いまむらクリニック 今村 麻衣子 先生



当院は内科、呼吸器内科、泌尿器科のクリニックとして、2012年6月に大原町に開業いたしました。芦屋市では珍しい呼吸器内科専門医ということで、咳や息切れでお困りの方に受診していただくことが多いほか、禁煙外来や在宅酸素療法、睡眠時無呼吸症候群の治療も行っております。芦屋病院にはCT撮影等の検査をお願いし、いつも迅速に対応していただいております。また、往診させていただいている患者さんが終末期でホスピスを希望されたときにも連携して対応していただきました。入院待機の間も担当の方から患者さんのご自宅に直接お電話をかけていただき待機時間の状況につ

いて説明をいただくなど、患者さんとそのご家族にも喜んでいただける対応をしていただき、感謝いたしております。

このたび、2月の芦屋病院公開講座の講師を担当させていただきます。ぜひ、皆さんお気軽にお越しください。今後ともよろしくお願いします。

1月 院内の催し・各教室のご案内

糖尿病教室

日 時 1月11日(金)13時30分～15時
場 所 2階病棟 講堂
内 容 糖尿病と合併症(2)スギンケア 講義と実際
講 師 医師・看護師 **料 金** 無 料
問い合わせ 栄養管理室

芦屋病院 マチネーコンサート

日 時 1月6日(日)14時30分～
場 所 外来ホール 黄色いピアノ前
出演者 金澤 佳代子 他
内 容 新春コンサート
問い合わせ 総務課



両親学級

日 時 1月12日(土)10時～12時
場 所 3階東病棟
内 容 お産の経過・赤ちゃんのお風呂
対 象 妊娠22週以降の妊婦とパートナー・5組
問い合わせ 産婦人科外来(電話は13時～16時)

冬の『公開講座』・『健康教室』のご案内

公開講座

場 所 芦屋市民センター401号室
時 間 午後2時～午後3時30分 **料 金** 1回 200円
問い合わせ先 芦屋市立公民館 (0797-35-0700)

日 程	内 容	講 師
1月12日 (土)	①高血圧の話～あなたの目標血圧値は?～ ②高血圧と食事療法	①循環器内科主任医長 伊阪 大二 ②管理栄養士 澤田 かおる
2月9日 (土)	冬に注意する呼吸器疾患	いまむらクリニック 院長 今村 麻衣子 医師
3月9日 (土)	もうすぐ完成!芦屋病院 振り返るこの1年について	病院長 金山 良男

健康教室

場 所 芦屋市保健福祉センター3階 多目的ホール
時 間 午後3時30分～午後4時40分 **料 金** 無 料
問い合わせ先 芦屋病院地域連携室 (0797-31-2156)

日 程	内 容	講 師
1月23日 (水)	肝臓がんと肝硬変	消化器内科主任医長 白井 健郎
2月27日 (水)	①「肩・腰・膝の痛み」 ②「肩・腰・膝の痛み」のリハビリ	①整形外科部長 名和 厳 ②理学療法士 田村 宏
3月13日 (水)	婦人科疾患	産婦人科部長 木村 俊夫

緩和ケア病棟ではボランティアを募集しています!



当院では緩和ケア病棟で一緒にボランティア活動を行ってくれる方を募集しています。緩和ケア病棟でのボランティア活動は、お茶のサービスや病室・病棟に飾るお花のお世話などの日常の活動に加え、七夕まつりやお月見、クリスマスなどの催しの開催のお手伝いも行います。ボランティア活動を今まで経験したことのない方でも興味のある方は、ぜひ一度講座にご参加ください。月に1回でも結構です。ご都合の付くお時間でボランティア活動にご参加いただきますようお願いしています!

緩和ケアボランティア講座

日時 平成25年3月8日(金) 14時～16時
場所 市立芦屋病院 2階病棟 講堂
内容 ①緩和ケアとは

緩和ケア内科主任医長 竹井 清純
 ②緩和ケア病棟の1日
 緩和ケア病棟師長 加治佐 直子
 ③緩和ケアボランティアの心得
 緩和ケアボランティア 木村 知子 六川 太郎



事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

◆ ◆ ◆ アスクレピオスの杖 ◆ ◆ ◆

巳年の「巳」は胎児の姿を表す象形文字とのことですが、十二支の動物としてはなぜか「ヘビ」があてられています。私自身もそうですが、多くの方はヘビやトカゲに嫌悪感を抱き、恐れています。一説には、人類の祖先がもっとも恐れた恐竜に対する記憶がヒトの遺伝子にすり込まれ、外観上の類似からヘビを毛嫌いするとも言われます。旧約聖書では、アダムとイブが禁断の木の実を食べてエデンの園から追放されましたが、木の実を食べるようにそそのかしたのはヘビであり、ここでも悪者扱いです。天使がヘビを踏みつけている構図のキリスト教の宗教画も少なくありません。

ヘビは忌み嫌われる一方で、崇拜される向きもあります。中国では雌雄のヘビが祖先神としてあがめられています。わが国でも縄文時代にヘビを信仰の対象とした行跡があり、発掘された土器にその痕跡がうかがわれます。現代でも、ヘビの抜け殻は縁起の良いものとして珍重され、財布に入れておくと金運がつくとの迷信もあります。その姿、かたちから嫌われても仕方がないヘビが敬われるのは、脱皮という現象からだと考えられます。脱皮は再生をイメージさせますし、アンチエイジングや不老不死を想像させます。

世界中の民族の間で、再生と不死身のシンボルとしてあがめられるヘビは、古代ギリシャでも健康のシンボルと考えられていました。ギリシャ神話に登場する名医アスクレピオスは、後に神の一員となり、医学の守護神となりました。アスクレピオスの持つ杖には、健康の象徴であるヘビが巻き付いています。この一匹のヘビが巻き付いた杖は、医療・医術の象徴として欧米で広く用いられ、WHO（世界保健機関）やAMA（米国医師会）

のマークなどに採用されています。余談ですが、同じ杖でもヘビが二匹巻き付いた図柄はケリュケイオンといって、ギリシャ神話でオリンポスの山に住む十二神の一人、ヘルメスが持っている杖です。ヘルメスは商業の神で医学・医療とは異なるのですが、マークとして混同されて使われている節もあります。ケリュケイオンは左右対称で、しかも杖の頭には翼がついているので、デザイン的に格好良いせいかもしれません。古代の商人は情報の運び屋でもあり、ヘルメスは神々の伝令役でもあったそうなので、ICT（情報通信技術）抜きには考えられない現代の医療においては、アスクレピオスの杖だけでなく、ヘルメスの杖の助けも大いに必要です。

再生医療を実現するために重要な役割を果たすiPS細胞（induced pluripotent stem cell人工的多能性幹細胞）の発明による山中伸弥教授のノーベル賞受賞は、日本中を興奮の渦に巻き込みました。今年は巳年にふさわしい、再生医療元年と言えるかも知れません。iPS細胞の技術が一日も早く臨床応用されることを祈る年明けとなりました。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



----- 交通案内 -----

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から



タクシー
約5分



バス
約15分
JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番



徒歩
約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用下さい（無料）

mini 情報

外来棟3階地域連携カウンターでは各種医療相談を行っております。相談は無料で秘密厳守です。お気軽にご利用下さい。



日本病院機能評価機構 認定施設 (ver 6)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>